



〈学校教育目標〉 ○かみがえる子 ○おもいやる子 ○やいぬく子 ○たくましい子

～栃木市内どこからでも通える“ひまわりの咲く”小規模特認校～ 2019.1.16

大南小だより1月号～Third Stage～

栃木市立大宮南小学校 Tel:22-1483

文責：校長 倉井 誠

<http://tm2.tcn.ed.jp/tochigi-ominami/> ←日頃の様子をご覧ください！

○新年明けましておめでとうございます。いよいよ第3学期がスタートしました。



穏やかに2019年の新年を迎え、子どもたちとともに職員一同また新たな気持ちでがんばって参りたいと思いますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、始業式の児童代表の発表では、以下のようなしっかりとしためあてを発表し、その達成に向けての意気込みが感じられました。

また、校長講話では「寒稽古」、「寒仕込み」の言葉のとおり、寒いこの時期の頑張りが大切であること、そして、今学期はまとめの学期であると同時に、進級・進学に向けた0学期としてのスタートであること等の話しをしました。

自己のめあてを自覚し、その達成に努めている子はよく成長します。日々努力し、また大きく成長してほしいと願っています。

引き続き、3学期も大宮南小学校の教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【1/8：第3学期始業式】

〈3学期の抱負〉～始業式に堂々と立派に発表しました～

2年：田口裕貴さん

「…1つ目は、さんすうです。…そのためにもっと自学をがんばり、テストで百点をとりたいです。2つ目は、うんどうです。ぼくは長いきょりがを走るのががてなので、家に帰ってから走りに行きたいです。…」

5年：大嶋絢斗さん

「…一つは、人の気持ちをよく考えることです。…相手の気持ちを考えて行動したいです。もう一つは、自分がされていやなことはしないことです。…二学期できなかったことを、三学期にがんばりたいです。」

○表彰の記録！（1/15現在）

【第47回JA交通安全ポスターコンクール】

・佳作 6年 黒田梨朱

【市民健康祭健康ポスターコンクール】

・優秀賞 4年 昆あか李

・佳作 5年 荒川優月

【明るい選挙啓発ポスターコンクール】

・県入選 6年 國分柚葉

・市入選 5年 大橋希海（県参加賞）

6年 根本悠聖

1年 神田仁美

【第21回路傍の石作品コンクール】(感想画の部)

・優秀賞 6年 竹村 知陽

5年 穴田 大夢

4年 高實子斗温

・優良賞 5年 山納 来倅

2年 横島 怜



【1/6:「路傍の石」作品コンクール表彰式】

※子どもたち一人ひとりが図工の時間などに描いた作品が教室や廊下に貼られます。学校にお越しの際は是非ご覧下さい。

〈裏面もあります〉

○「なわとび大会」に向けて特訓中！

寒中ですが、2月に行われるなわとび大会に向けて、毎週木曜日の朝に行っている「パワーアップタイム」や休み時間や体育の時間を利用して一生懸命にそして意欲的に練習に取り組んでいます。

一人ひとりめあてのカードを持ち、上の級を目指し、また持久とびをさらに永く跳べるように練習しています。1階西廊下には、子どもたちの達成度がわかるようにランキングが貼られ励ましとなっています。

大会当日は、子どもたちのがんばる姿を是非ご覧下さいようお願いいたします。



【1/10：パワーアップタイム（なわとび）】

○「さわやかタイム」～異年齢グループでなかよく遊んでいます～

毎月水曜日に1回程度、1年生から6年生までの異年齢グループみんなで遊ぶ「さわやかタイム」を行っています。それぞれのグループは5、6年生が中心となって何をして遊ぶかを決めみんなで遊びます。

学年内のコミュニケーションだけでなく、縦割りの全部の学年で遊ぶことでコミュニケーションの時間を確保するとともに、リーダーシップやフォロアーシップも学んでいます。この日も5、6年生がしっかりとグループをリードしみんなでなかよく思いっきり遊びました。



【みんなで遊ぼう！】

○ありがとうございます。 きしやすいち

～大宮地区スクールガード 岸保一さん～

昨年の12月から大宮地区スクールガードとして、毎朝、児童の安全・安心のために、寒い中、オレンジ色の帽子とビブスを身につけて、自転車で交通指導や見回りをして下さっています。

大宮北小が中心になりますが、本校の学区も回って下さり、児童たちもお世話になっています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。お世話になります。



【1/11：朝の登校】

【まこと一ク】 その8 ～「五風十雨」～

とりとめのない話ですが、今年もお付き合いをよろしくお願いいたします。

この言葉は、五日毎に風が吹き、十日毎に雨が降るという意味で、気候が穏やかになり植えた苗が順調に育つ、豊作の兆し、世の中が平穏無事であることのとえとして使われます。

この言葉を聞いたとき、植物、苗が育つには、水が必要なので、十日毎に雨が降るのはなんとなく分かりましたが、なぜ風が五日毎に必要なのかよく分かりませんでした。

大宮南小学校の児童の皆さん、なぜ苗が育つのに風が必要なのだと思いますか。植物を育てている人に聞いたところ、分かりました。まだ苗のとき、土の中で踏ん張るそうです。そのたびに根は強くなり、土にしっかりと根付いてきます。つまり、風が吹くたびに根は太くたくましくなり、養分を吸収していくようになるのです。風が吹かないと、根はいつまでも細いままなのだそうです。

この話を聞いて、私たち人間も似ているなど思いました。快い風、気持ちの良い風だけではなく、ときには冷たく厳しい風が吹き付けることもあります。でも、そんなときこそ、ぐっと根を張ることができるのです。特に皆さんのような若者は、まだ根が細くて吹き飛ばされそうになることになるかもしれません。でもそんなときこそ、工夫をして乗り越え、自分を成長させるチャンスだと思います。冷たい風に負けたり逃げたりするのではなく、冷たい風、試練こそしっかり大地に根を張るチャンス、人間性を高め、成長するチャンスととらえて、これからも乗り越えていってほしいと思います。

まさに、今、寒中真っ只中です。「寒稽古」、「寒仕込み」などの言葉が示すように、この寒い時期の頑張りがある春にきれいな花を咲かせてくれます。(ちなみに、お酒は「寒仕込み」をし、とてもおいしくなります。お正月も終わったので、飲み過ぎには注意しないと…。(笑))

東陽中学校区の小中学校では毎月14日に、
『ノーテレビデー・ノーゲームデー』を推進しています。

◎家庭学習時間の確保

◎家族とのコミュニケーション（会話・料理・スポーツなど）の確保

◎生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）の確保